<table>
<thead>
<tr>
<th>項目</th>
<th>内容</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>タイトル</td>
<td>宮本百合子「播州平野」における戦後日本</td>
</tr>
<tr>
<td>作者</td>
<td>姜 銓鎬</td>
</tr>
<tr>
<td>引用</td>
<td>研究論集 = Research Journal of Graduate Students of Letters, 14: 71(右)-81(右)</td>
</tr>
<tr>
<td>発行日</td>
<td>2014-12-20</td>
</tr>
<tr>
<td>投稿URL</td>
<td><a href="http://hdl.handle.net/2115/57705">http://hdl.handle.net/2115/57705</a></td>
</tr>
<tr>
<td>ファイル情報</td>
<td>14_017_Kang.pdf</td>
</tr>
</tbody>
</table>

HOKKAIDO UNIVERSITY
北海道大学文学研究科
研究論集
第十四号

家たちは戦争行為には抵抗せず、むしろそれに対しして大衆を扇動した点を批判し、これからは社会と歴史の発展のために、民主的で進歩的な文学作品を書くことが必要だと主張する。つまり、今までの日本の行為に対して反省しなから、今後、世界的な流れに合わせることなく、作曲が重要な役割を演じなければならないことを指摘しているのである。

このような内容をよく説明している文章である。百合子は文学作品を通じて社会が変化することを目指し、日本と文学を統一的に結びつけようとした。これは、同時代の作家、例えば林美子（一九〇三年～一九五一年）など、大衆に人気のある作家と対比される特徴として、百合子は、単に当時の時代的な状況を借用する水準に留まらない傾向を持ち、百合子は、百合子がディビューションしたか、百合子がどれほど民衆の視点で作品活動をしたのかがわかる。作家としての位置が危険になることを覚悟して、戦争行為に協力しなかったことは、民衆が戦争という狂気の行動に同調してしまったということに対する反対行動だった。そして、敗戦になることに対する反対行動だった。

百合子が戦後発表した最初の長編である『播州平野』は、市民的文学作品を通じて民衆の貧乏な生活を世に知らせるという目的を果たした。このように、物語は民衆が読むことを一番に考え、民衆の生活を描きつける点が評価される。現在、いくつもの興味深い研究を発表されているが、百合子の作品は、このような文学構造を読むために、日本全国に広がる民衆の反対行動を反映された作品として見ることができる。

『播州平野』は、日本社会の歴史的断面を鮮やかに照らし出す記念碑的な作品として高く評価され、現在、いくつのか興味深い研究も発表されているが、百合子の作品は、このような文学構造を読むために、日本全国に広がる民衆の反対行動を反映された作品として見ることができる。
一般民衆について語ると、その民衆の生活をどのように理解しているのかという問題を、作品中的人物の視線でしっかりと向かっていることで解決できると分析する。

ただし、自分とは違う立場の人を見るという視点が違うと、作品に登場する人物の視線をつなげて説明することは、作中に存在しない人物に対する言及が、どのようにして、大衆が捉えるかという問題を深く検討している。

特に、人物の視線をつなげて説明することだけでは足りないと考え、作品の内容をより詳細に説明することが必要である。さらに、人物の視線を通じて、大衆がどのように捉えるかを詳しく説明することで、作品の内容をより深く理解することが可能となる。

そうして、作品の視点をつないで説明することは、作品の内容をより深く理解することが可能となる。さらに、作品の視点をつないで説明することは、作品の内容をより深く理解することが可能となる。さらに、作品の視点をつないで説明することは、作品の内容をより深く理解することが可能となる。さらに、作品の視点をつないで説明することは、作品の内容をより深く理解することが可能となる。さらに、作品の視点をつないで説明することは、作品の内容をより深く理解することが可能となる。さらに、作品の視点をつないで説明することは、作品の内容をより深く理解することが可能となる。さらに、作品の視点をつないで説明することは、作品の内容をより深く理解することが可能となる。さらに、作品の視点をつないで説明することは、作品の内容をより深く理解することが可能となる。さらに、作品の視点をつないで説明することは、作品の内容をより深く理解することが可能となる。さらに、作品の視点をつないで説明することは、作品の内容をより深く理解することが可能となる。さらに、作品の視点をつないで説明することは、作品の内容をより深く理解することが可能となる。さらに、作品の視点をつないで説明することは、作品の内容をより深く理解することが可能となる。さらに、作品の視点をつないで説明することは、作品の内容をより深く理解することが可能となる。さらに、作品の視点をつないで説明することは、作品の内容をより深く理解することが可能となる。さらに、作品の視点をつないで説明することは、作品の内容をより深く理解することが可能となる。さらに、作品の視点をつないで説明することは、作品の内容をより深く理解することが可能となる。さらに、作品の視点をつないで説明することは、作品の内容をより深く理解することが可能となる。さらに、作品の視点をつないで説明することは、作品の内容をより深く理解することが可能となる。さらに、作品の視点をつないで説明することは、作品の内容をより深く理解することが可能となる。さらに、作品の視点をつないで説明することは、作品の内容をより深く理解することが可能となる。さらに、作品の視点をつないで説明することは、作品の内容をより深く理解することが可能となる。さらに、作品の視点をつないで説明することは、作品の内容をより深く理解することが可能となる。さらに、作品の視点をつないで説明することは、作品の内容をより深く理解することが可能となる。さらに、作品の視点をつないで説明することは、作品の内容をより深く理解することが可能となる。さらに、作品の視点をつないで説明することは、作品の内容をより深く理解することが可能となる。さらに、作品の視点をつないで説明することは、作品の内容をより深く理解することが可能となる。さらに、作品の視点をつないで説明することは、作品の内容をより深く理解することが可能となる。さらに、作品の視点をつないで説明ことは、作品の内容をより深く理解することが可能となる。さらに、作品の視点をつないで説明することは、作品の内容をより深く理解することが可能となる。さらに、作品の視点をつないで説明することは、作品の内容をより深く理解することが可能となる。さらに、作品の視点をつないで説明することは、作品の内容をより深く理解することが可能となる。さらに、作品の視点をつないで説明することは、作品の内容をより深く理解することが可能となる。さらに、作品の視点をつないで説明することは、作品の内容をより深く理解することが可能となる。さらに、作品の視点をつないで説明することは、作品の内容をより深く理解することが可能となる。さらに、作品の視点をつないで説明することは、作品の内容をより深く理解することが可能となる。さらに、作品の視点をつないで説明することは、作品の内容をより深く理解することが可能となる。さらに、作品の視点をつないで説明することは、作品の内容をより深く理解することが可能となる。さらに、作品の視点をつないで説明することは、作品の内容をより深く理解することが可能となる。さらに、作品の視点をつないで説明することは、作品の内容をより深く理解することが可能となる。さらに、作品の視点をつないで説明することは、作品の内容をより深く理解することが可能となる。さらに、作品の視点をつないで説明することは、作品の内容をより深く理解することが可能となる。さらに、作品の視点をつないで説明することは、作品の内容をより深く理解することが可能となる。さらに、作品の視点をつないで説明することは、作品の内容をより深く理解することが可能となる。さらに、作品の視点をつないで説明することは、作品の内容をより深く理解することが可能となる。さらに、作品の視点をつないで説明することは、作品の内容をより深く理解することが可能となる。さらに、作品の視点をつないで説明することは、作品の内容をより深く理解することが可能となる。さらに、作品の視点をつないで説明することは、作品の内容をより深く理解することが可能となる。さらに、作品の視点をつないで説明することは、作品の内容をより深く理解することが可能となる。さらに、作品の視点をつないで説明することは、作品の内容をより深く理解することが可能となる。さらに、作品の視点をつないで説明することは、作品の内容をより深く理解することが可能となる。さらに、作品の視点をつないで説明することは、作品の内容をより深く理解することが可能となる。さらに、作品の視点をつないで説明することは、作品の内容をより深く理解することが可能となる。さらに、作品の視点をつないで説明することは、作品の内容をより深く理解することが可能となる。さらに、作品の視点をつないで説明することは、作品の内容をより深く理解することが可能となる。さらに、作品の視点をつないで説明することは、作品の内容をより深く理解することが可能となる。さらに、作品の視点をつないで説明することは、作品の内容をより深く理解することが可能となる。さらに、作品の視点をつないで説明ことは、作品の内容をより深く理解することが可能となる。さらに、作品の視点をつないで説明ことは、作品の内容をより深く理解することが可能となる。さらに、作品の視点をつないで説明ことは、作品の内容をより深く理解することが可能となる。さらに、作品の視点をつないで説明ことは、作品の内容をより深く理解することが可能となる。さらに、作品の視点をつないで説明ことは、作品の内容をより深く理解することが可能となる。さらに、作品の視点をつないで説明ことは、作品の内容をより深く理解することが可能となる。さらに、作品の視点をつないで説明することは、作品の内容をより深く理解することが可能となる。さらに、作品の視点をつないで説明することは、作品の内容をより深く理解することが可能となる。さらに、作品の視点をつないで説明することは、作品の内容をより深く理解することが可能となる。さらに、作品の視点をつないで説明することは、作品の内容をより深く理解することが可能となる。さらに、作品の視点をつないで説明することは、作品の内容をより深く理解することが可能となる。さらに、作品の視点をつないで説明することは、作品の内容をより深く理解することが可能となる。さらに、作品の視点をつないで説明することは、作品の内容をより深く理解することが可能となる。さらに、作品の視点をつないで説明することは、作品の内容をより深く理解することが可能となる。さらに、作品の視点をつないで説明することは、作品の内容をより深く理解することが可能となる。さらに、作品の視点をつないで説明することは、作品の内容をより深く理解することが可能となる。さらに、作品の視点をつないで説明することは、作品の内容をより深く理解することが可能となる。さらに、作品の視点をつないで説明ことは、作品の内容をより深く理解することが可能となる。さらに、作品の視点をつないで説明ことは、作品の内容をより深く理解することが可能となる。さらに、作品の視点をつないで説明ことは、作品の内容をより深く理解することが可能なる。さらに、作品の視点をつないで説明ことは、作品の内容をより深く理解することが可能なる。さらに、作品の視点をつないで説明ことは、作品の内容をより深く理解することが可能なる。さらに、作品の視点をつないで説明ことは、作品の内容をより深く理解することが可能なる。さらに、作品の視点をつないで説明することは、作品の内容をより深く理解することが可能なる。さらに、作品の視点をつないで説明することは、作品の内容をより深く理解することが可能なる。さらに、作品の視点をつないで説明することは、作品の内容をより深く理解することが可能なる。さらに、作品の視点をつないで説明することは、作品の内容をより深く理解することが可能なる。さらに、作品の視点をつないで説明することは、作品の内容をより深く理解することが可能なる。さらに、作品の視点をつないで説明することは、作品の内
北海道大学文学部文学研究科
研究論集
第十四号

この通報を受けて、夫の実家がある山口県へ行くことになる。以
後、重吉の実家に着いたひろ子は、母の登代と次女の妻のことを
再会するが、彼女たちの愛の生活を見て、次女のことをよく伝えるこ
とができなくなる。ある日、重吉の実家にある部屋が火で破壊され
る。火が騒ぎ、人々が慌てて逃げる。ひろ子は心配で、母と次女と
二人で、火災を避けるために、屋外へ逃げてくる。

八月二十五日の正午から午後二時まで、日本では、森戸と
して声を呟いている間に、歴史はその巨大な波をなす。かくして
したのであった。東北の小さな田舎町でも、暑さとともに凝固
させた深い沈黙は、これ迄ひどい個人の生活にも苦しかったひ
どい歴史の瞬間でなくて、何であったろう。ひろ子は、
身内が震えるようにして来るのを制しかねた。

先日まで毎日続いた空襲は行われず、その代わりにラジオから天
皇降伏宣言が流れ、町には寂寥たる瞬間が流れる。ひろ子本人も
「個人の生活にても苦しかった」という歴史の間隔の瞬間であつ、何で
はならないかった人たちもいたはずである。

もちろん、日本は戦勝を肯定的に考えなかった人も多かったと
え、天皇の降伏宣言を聴いて、切腹した兵士や、軍部の奮戦に影
響を受けた人たち、直接的間接的に戦争に関連した人々。戦争を
中傷した日本人は安定し生活であり、戦争が関心の対象

もなってはならないかった人たちもいたはずである。

必ずしも、日本は戦勝を肯定的に考えなかった人も多かったと
え、天皇の降伏宣言を聴いて、切腹した兵士や、軍部の奮戦に影
響を受けた人たち、直接的間接的に戦争に関連した人々。戦争を
中傷した日本人は安定し生活であり、戦争が関心の対象

もなってはならないかった人たちもいたはずである。

もちろん、日本は戦勝を肯定的に考えなかった人も多かったと
え、天皇の降伏宣言を聴いて、切腹した兵士や、軍部の奮戦に影
響を受けた人たち、直接的間接的に戦争に関連した人々。戦争を
中傷した日本人は安定し生活であり、戦争が関心の対象

もなってはならないかった人たちもいたはずである。
敗戦になったにもかかわらず、「教総」は「国体」概念を放棄し、敗戦になったにもかかわらず、「教総」は「国体」概念を放棄し、敗戦になったにもかかわらず、「教総」は「国体」概念を放棄し、敗戦になったにもかかわらず、「教総」は「国体」概念を放棄し、敗戦になったにもかかわらず、「教総」は「国体」概念を放棄し、敗戦になったにもかかわらず、「教総」は「国体」概念を放棄し、敗戦になったにもかかわらず、「教総」は「国体」概念を放棄し、敗戦になったにもかかわらず、「教総」は「国体」概念を放棄し、敗戦になったにもかかわらず、「教総」は「国体」概念を放棄し、敗戦になったにもかかわらず、「教総」は「国体」概念を放棄し、敗戦になったにもかかわらず、「教総」は「国体」概念を放棄し、敗戦になったにもかかわらず、「教総」は「国体」概念を放棄し、敗戦になったにもかかわらず、「教総」は「国体」概念を放棄し、敗戦になったにもかかわらず、「教総」は「国体」概念を放棄し、敗戦になった에도かかわらず、「教総」は「国体」概念を放棄し、敗戦になったにもかかわらず、「教総」は「国体」概念を放棄し、敗戦になったにもかかわらず、「教総」は「国体」概念を放棄し、敗戦になったにもかかわらず、「教総」は「国体」概念を放棄し、敗戦になったにもかかわらず、「教総」は「国体」概念を放棄した。
本作は、長期間の戦争によって破壊された日本社会像にも注目している。特に、朝鮮人が登場させ、彼らの行動から敗戦直後の日本が荒廃した地域の様子や、軍部の無計画な運営によって引き起こされた洪水を、沈静して、敗戦日本が登場する場面を確認してみる。本作は朝鮮人のイージュを効果的に描いている。ひろ子は朝鮮人を描写している部

分を読むと、五年間の植民地統治下にあった人たちはという、弱者らのメモ Tambora も少し見られない。むしろ、彼らを痛窮の対象として見る。例えば、次のような場面がある。

アリラン

越えてゆく………………（三）

アリランの歌は、雨のない朝、車内で立っているように少女はアリランをうたっている。ひろ子は、しんを傾けてその歌をきいた。

山口へ行く途中、列車の整備問題、劣悪な鉄道状況などで、ヒロ子に乗っている列車は何度も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗っている列車は何回も停車し、数回乗り換えなければならない。朝鮮人が乗ている
戦後における戦場での分布者たちの姿は、敗戦のときの状況は急変し、朝鮮人たちの姿から嫉妬を感じることになったのである。しかし、ひろの口ぶりは、朝鮮人たちが自由を獲得したことについて、同じ人間の立場で共感しているように見られる。

ところでは、こういう朝鮮人たちの姿を肯定的に描く一方、敗戦の影響下に廃絶した日本人を描くことを通して、元々が誇り高きと自負していた支配者の立場であったが、敗戦のときからの変化は急変し、朝鮮人たちの姿から嫉妬を感じることになったのである。しかし、ひろの口ぶりは、朝鮮人たちが自由を獲得したことについて、同じ人間の立場で共感しているように見られる。

と、これらが同時に支配者たちの姿を肯定的に描く一方、敗戦の影響下に廃絶した日本人を描くことを通して、元々が誇り高きと自負していた支配者の立場であったが、敗戦のときからの変化は急変し、朝鮮人たちの姿から嫉妬を感じることになったのである。しかし、ひろの口ぶりは、朝鮮人たちが自由を獲得したことについて、同じ人間の立場で共感しているように見られる。

このように、負の面だけではなく、正の面も描かれることが重要であり、協力するための努力を行うことが重要である。前章で進めるために、新たな場面を描いて、新しいメッセージを発信しているのである。

本章では、重吉の「戦争」が、なぜ洪水の被害を受けたのかを説明する場面である。
戦争末期の民衆たちが、日本の没落を招いた支配層に対して、腹立っていたことを暗示している。しかし、この怒りが、単純に支配層に向けられていたとは見られない。ひろがいる山口の「部落」の人たち、戦中、工場で行われた人間魚雷の発射ということもすべてを知っていたのに、誰一人もそれに抗議しなかった。このように、支配層に対する抵抗が見えなかった民衆たちが、自分たちの行為を批判した歌に、人たちは協力する形で、民衆たちが互いに協同することを強調し、それによって新しい日本の誕生が可能であると主張している。作品の後に、侵略と民衆生活の上に加えられる破壊に対して抵抗し、戦後に変貌を望むという思想を、その大重吉の祝詞が決定された場面は、そういう思想の萌芽を示している。

以上、宮本百合子の「播州平野」における戦後の日本社会について、三つの場面に注目しながら論じてみた。一節では、作中の支配層を検討し、問題点の指摘からはじめた。二節では、作中の支配層の姿を通じて、彼らの考え方を戦争の原因を探る。三節では、主人公ひろ子が描かれている朝鮮人像を検討してみた。朝鮮人たちには、否定的なイメージが少ないが、彼女が描かれている朝鮮人像を検討してみた。
その後の人たちがどれほど悲惨な生活をしているかを描いた作品である。それに、宮本隆治が指摘したように、直接的に政府の行動を批判していた点だけでも、本作が同時代作家の作品とは別格であることが確認できる。政府の政策に反対し、国家本位という体制を否定した作家として存在し、またその同盟団体の内閣に対抗する役割があった。百合作は、政府に反対する立場をとったが、政府の決定を疑問視することはなかった。以降の政府の決定について、政府の決定を疑問視することはなかった。
北海道大学大学院文学研究科
研究論集 第十四号

九四五年五月 六四頁

宫本百平『播州平野』 第二十六集 新日本出版社

九四五年五月 一八二頁

宫本百平『播州平野』 第二十七集 新日本出版社

九四五年五月 一五三頁

宫本百平『播州平野』 第二十八集 新日本出版社

九四五年五月 一六九頁

宫本百平『播州平野』 第二九集 新日本出版社

九四五年五月 一四零頁

宫本百平『播州平野』 第三零集 新日本出版社

九四五年五月 一二八頁

宫本百平『播州平野』 第三一集 新日本出版社

九四五年五月 一○七頁

宫本百平『播州平野』 第三二集 新日本出版社

九四五年五月 八四頁

宫本百平『播州平野』 第三三集 新日本出版社

九四五年五月 一四七頁

宫本百平『播州平野』 第三四集 新日本出版社

九四五年五月 一七二頁

宫本百平『播州平野』 第三五集 新日本出版社

九四五年五月 一九七頁

宫本百平『播州平野』 第三六集 新日本出版社

九四五年五月 二一四頁

宫本百平『播州平野』 第三七集 新日本出版社

九四五年五月 二二七頁

宫本百平『播州平野』 第三八集 新日本出版社

九四五年五月 二四四頁

宫本百平『播州平野』 第三九集 新日本出版社

九四五年五月 二六零頁

宫本百平『播州平野』 第四零集 新日本出版社

九四五年五月 二七七頁

宫本百平『播州平野』 第四一集 新日本出版社

九四五年五月 二九零頁

宫本百平『播州平野』 第四二集 新日本出版社

九四五年五月 三零三頁

宫本百平『播州平野』 第四三集 新日本出版社

九四五年五月 三一八頁

宫本百平『播州平野』 第四四集 新日本出版社

九四五年五月 三三三頁

宫本百平『播州平野』 第四五集 新日本出版社

九四五年五月 三四八頁

宫本百平『播州平野』 第四六集 新日本出版社

九四五年五月 三六三頁

宫本百平『播州平野』 第四七集 新日本出版社

九四五年五月 三七八頁

宫本百平『播州平野』 第四八集 新日本出版社

九四五年五月 三九三頁

宫本百平『播州平野』 第四九集 新日本出版社

九四五年五月 四零八頁

宫本百平『播州平野』 第五一集 新日本出版社

九四五年五月 四二三頁

宫本百平『播州平野』 第五二集 新日本出版社

九四五年五月 四三八頁

宫本百平『播州平野』 第五三集 新日本出版社

九四五年五月 四五三頁

宫本百平『播州平野』 第五四集 新日本出版社

九四五年五月 四六八頁

宫本百平『播州平野』 第五六集 新日本出版社

九四五年五月 四八三頁

宫本百平『播州平野』 第五七集 新日本出版社

九四五年五月 四九八頁

宫本百平『播州平野』 第五八集 新日本出版社

九四五年五月 五一三頁

宫本百平『播州平野』 第五九集 新日本出版社

九四五年五月 五二八頁

宫本百平『播州平野』 第六零集 新日本出版社

九四五年五月 五四三頁

宫本百平『播州平野』 第六一集 新日本出版社

九四五年五月 五六八頁

宫本百平『播州平野』 第六二集 新日本出版社

九四五年五月 五八三頁

宫本百平『播州平野』 第六三集 新日本出版社

九四五年五月 六零八頁

宫本百平『播州平野』 第六四集 新日本出版社

九四五年五月 六二三頁

宫本百平『播州平野』 第六五集 新日本出版社

九四五年五月 六三八頁

宫本百平『播州平野』 第六六集 新日本出版社

九四五年五月 六五三頁

宫本百平『播州平野』 第六七集 新日本出版社

九四五年五月 六六八頁

宫本百平『播州平野』 第六八集 新日本出版社

九四五年五月 六八三頁

宫本百平『播州平野』 第六九集 新日本出版社

九四五年五月 六九八頁

宫本百平『播州平野』 第七零集 新日本出版社

九四五年五月 七一三頁

宫本百平『播州平野』 第七一集 新日本出版社

九四五年五月 七二八頁

宫本百平『播州平野』 第七二集 新日本出版社

九四五年五月 七四三頁

宫本百平『播州平野』 第七三集 新日本出版社

九四五年五月 七五八頁

宫本百平『播州平野』 第七四集 新日本出版社

九四五年五月 七七三頁

宫本百平『播州平野』 第七五集 新日本出版社

九四五年五月 七八八頁

宫本百平『播州平野』 第七六集 新日本出版社

九四五年五月 七九三頁

宫本百平『播州平野』 第七七集 新日本出版社

九四五年五月 八零八頁

宫本百平『播州平野』 第七八集 新日本出版社
羽矢みすきは、ひろ子の態度について分析する。彼女は、朝鮮人を抑圧から解放され（同志）として見つめるひろ子の眼差しが認められた。衆議院で、重吉を思想犯として獄中で繰り続け、ひろ子が憎まれた。（治安維持法）は、他の総制法規とともに四五年一〇月に廃止された。長期に渡る日本国家の抑圧からの朝鮮民族の解放と、重吉たち思想犯の解放の喜びは共有されるべきものである。パブリッジ解釈と鑑賞、第二巻、『国文学』、２００四七月号、至文堂、二〇〇四年七月号、至文堂。宮本百合子『播州平野』（宮本百合子全集）第六巻、新日本出版社、二〇〇一年三月版、八五〇四頁。作の記述による、ニッポンよい国。花の国／七〇月八月、宮本百合子『播州平野』（宮本百合子全集）第六巻、新日本出版社、二〇〇一年三月版、八五〇四頁。ソギナが新しく重要視される『国文学』、二〇〇四年七月号、至文堂。宮本百合子『播州平野』（宮本百合子全集）第六巻、新日本出版社、二〇〇一年三月版、八五〇四頁。